

# 幼 児 の 教 育

昭 和 六 年 五 月

まめやかさ

生へる力、伸びる力。それに驚く心がなくては、自然も子どもも、ほんとうには分らない。が、驚きだけでは、詩と研究とが生れても、教育にはならない。教育者は詠嘆者たるだけではないからである。子どもの力に絶えず驚きながら、その詠嘆のひまもすきまもない程に、こまかい心づかひに忙しいのが教育であり、教育者である。

教育のめざす處は大きい。教育者の希望は遠い。しかし、其の日々の仕事はこまかくと極めて手近かなことである。丁度、園藝の目的は花にあり果實にありながら、園丁の仕事がああ通りなのと同じである。よき園藝家とは、まめな人である。実際に行き届く人である。休む間もない氣くばりに、目と手と足の絶えず働いてゐる人である。やがて咲かせたい花のことも、ならせたい果實のことも、手をあけて思ふ間もない程に、今の世話に忠實な人である。

驚く心がすぐ實際のまめやかさになる人、そういう人が實際教育者である。